

9月号

楽しみがゆきわたる ~学びが楽しい学校~

東小だより

東っ子

甲府市立東小学校  
発行日 R元.9.20  
発行者 校長 新田正彦  
055(233)4468



タイトルバックは、東小学校の特色の一つであるプラネタリウムの機械を図にしたものです。

## 全国学力・学習状況調査の結果から

4月18日(木)に実施した全国学力・学習状況調査の結果について報告いたします。この調査は、6年生を対象に教科に関する調査(国語・算数)と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の2種類で、①児童の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題の検証と改善を図る ②教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する ③学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる という3つの目的で実施されました。本校の検査結果の概要と今後の取組等についてお知らせします。

## 学力調査から(県平均・全国平均と比較しての課題)

### 【国語】

- 〈言語についての知識・理解・技能〉
- △習った漢字を文の中で正しく使うこと
  - ・特に、同音異義語(対象 対照 対称 や 関心 感心)の区別ができていない。
- △文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと
- 〈話す・聞く能力〉
- △話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること
- △話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること



### 【算数】

- 〈数量や図形についての技能〉
- △棒グラフから、2つの年の市全体の水の使用量が何倍になっているかを読み取ること
  - ・割合について理解が浅い。
- △加法・乗法、整数・小数の混合した計算をすること
  - ・乗法が加法の後にあっても先に計算することを忘れてる。
- 〈数学的な考え方〉
- △示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること
- △2つの棒グラフから、特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること
- △示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること
- △場面の状況から、単位量あたりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断すること

## 質問紙調査から(県・全国の状況と比較してよいところ)

- 〈基本的な生活習慣に関わること〉
- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 〈家庭での生活に関わること〉
- 家の人と学校での出来事について話をしている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 〈学習に関わること〉
- 授業で学んだことを他の学習に生かしている。
- 国語や算数の勉強は大切で、学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思っている。
- 先生は、間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。

- 〈学校生活に関わること〉
- 学校の決まりを守っている。
- 学級会での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思っている。
- 〈自分に関わること〉
- ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
- 自分には、よいところがあると思う。

…肯定的な回答が多かった項目を挙げました。

## 今後の取組について

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上に向け、次のことに取り組みます。

### ◇基礎基本の定着

- ・火、水、金曜日の15分間の朝学習の時間(8時20分から35分)に、国語や算数のドリル学習を行う。
- ・月曜日の朝学習の時間には、山梨県の学力向上プログラムなどを行う。
- ・漢字の学習では、同音異義語の使い分けができるように気を付けて指導する。
- ・接続語の使い方を指導して、読みやすい文章を書けるように指導する。
- ・該当学年で学習する四則計算ができるようにする。また、加減乗除の計算の順番を理解させる。
- ・何倍などの割合の考え方を、その都度、学年に応じて指導する。
- ・基礎基本として身に付けたことを使う場面を設定する。(作文を書くときに既習の漢字を使わせる、など)

### ◇さらに「わかる授業」の推進

- ・子どもたちが学習の見通しを持てるように、毎時間めあてを示す。また、学習の振り返りを行い、その時間に分かったことを確認し、次の時間以降に役立てられるようにする。(校内研究で取り組む)
- ・問題や数式、グラフなどの読み取りができていないか確認しながら授業を進める。(スタートでつまづいていないかを確認する)

### ◇論理的思考力の育成

- ・数学的な考え方を育てるために、なぜそうなるのかといった理由や説明を書く活動を取り入れる。
- ・話し手の意図を捉え、それを基に自分の考えをまとめて書く活動を取り入れる。

### ◇学習意欲の向上

- ・自分の課題や目標を意識させ、その目標を達成するためにはどうすればよいか考えさせ、取り組ませる。自分に合った(高すぎず、低すぎない)目標を立てられるように指導し、達成できた時には評価して(ほめて)自信につなげる。
- ・自主学习で自分の課題に取り組むことができるよう意識を高めていく。

## 家庭において取り組んでいただきたいこと

教育は学校だけでできるものではありません。家庭の協力が必要です。共通理解をしながら子供たちの教育に当たりたいと思います。それが学力の向上にもつながります。

### ☆親子のふれあいの時間を大切に

- ・質問紙調査からは、「家の人と学校での出来事について話をしている」について肯定的に回答している児童が多く、家庭でのコミュニケーションがしっかりとられていることがうかがわれます。
- ・さらに、親子で本を読んだり、子どもの音読を聞いたり、感想を話し合ったりするなど、「家読」の時間を決めて親子で取り組んでみてください。読むことに慣れ、考えをまとめる力がついていきます。



### ☆家庭学習の取組の応援を

- ・学力をつけるために、家庭学習の習慣をつけることが大切です。子供が自ら学習に取り組めるように励ましの声をかけてください。特に、南中学校と連携した「学習強化週間」へのご協力をお願いします。
- ・家庭学習の時間を確保するためにも、テレビやゲーム、スマートフォン等の視聴や使用時間を減らすように、家庭内で話し合いをしてください。
- ・規則正しい生活を送ることができるよう、「早寝早起き朝ごはん朝うんち」の健康四原則を守らせてください。
- ・子供たちも、学習は大切で将来役に立つと思っています。そのためにも、学習に時間をかけることが大切だということを意識させてください。